

## カワセミ（カワセミ科） 全長17センチ

大仙市の鳥であり、秋田県版レッドデータブックで準絶滅危惧種に指定されるカワセミ。

よく名前の知られた鳥であるが、自然の状態で見える機会はほとんど無さそうです。数の少なさに加え、小さな体で水面を素早いスピードで飛び去ってしまうので、見つけることも難しいようです。

今年も、神宮寺中川原公園でカワセミの求愛給餌を観察した。公園の一角にカワセミ専用の人工営巣地を設置し、繁殖行動を見守り続け数年が経過。今年も使ってくれるか見守ってきたが、4月2日つがいと思われる2羽が飛来した。



川岸の小枝でじっと待っている様子

岸辺の枝先でメスのカワセミが見つかった。

じっとしたままほとんど動きがありません。もしやと思いじっと待ち続けると、オスが魚をくわえて飛んできた。

メスは近づこうともせずにその場から動きません。オスは魚をメスに向かって差し出しました。大きくクチバシを開くと、はいどうぞと言うようにメスにプレゼント。めでたく愛が成立した瞬間で、求愛給餌という行動です。



生きのいい魚をゲット



オス（右）が魚をメスに差し出した（食べやすいように魚の頭を前に向けている）

このあと順調にいけば、巣穴掘りに取り掛かります。

巣穴は真横に60センチほど掘り進み。一番奥がやや広くなりここが産室です。抱卵期間は19～21日くらいで、孵化後から巣立ちまで約20日間。元気な雛の姿を確認するまで、暫く目が離せません。



お気に入りの枝にオスが飛来した



巣穴の方を眺めている